



## カメムシについて

2023年秋、カメムシが全国的に大量発生しました。春から秋にかけて活発になり、悪臭、農作物の被害などを引き起こすカメムシは、国内に多くの種類が生息しています。私たちがよく目にする茶色のクサギカメムシやあざやかな緑色のツヤアオカメムシは、代表的な種です。

当センターにおいても、学校給食の喫食中に発見された異物として、例年より多い検査依頼がありましたので、ご紹介します。

### <給食中異物のカメムシの種類>

学校給食の異物として発見されるカメムシは緑色で、果樹や農作物を加害するツヤアオカメムシやミナミアオカメムシと思われます。触覚や脚の欠損が認められる場合もありますが、概ね整った形態です。



ツヤアオカメムシ



ミナミアオカメムシ

### <カタラーゼ試験：加熱の有無>

- カタラーゼとは、多くの生物に含まれている酵素で、過酸化水素を酸素と水に分解する働きをしています。酵素の主成分はタンパク質なので、加熱すると変性し活性を失います(失活)。この性質を利用して、昆虫等が加熱されたかどうかを推測することができます。
- 過酸化水素を滴下した結果、(写真1)のように、カメムシの身体の内部から連続した発泡(酸素)があれば、カタラーゼの活性があり(陽性)、加熱されていないと推測されます。(写真2)のように発泡(酸素)がなければ、カタラーゼは失活しており(陰性)、異物は加熱されていると推測されます。

(写真1)



(写真2)



## 【2023年各地で大量発生したツヤアオカメムシについて】

### <ツヤアオカメムシの生態>

春：成虫が越冬からさめて山へ移動し、交尾産卵する。果樹や農作物を加害する。

夏：幼虫は山でスギやヒノキの実※を摂食して生長する。

秋：成虫は山から飛翔して分散する。照明に飛来したり、果樹や農作物を加害する。

冬：人里や山の樹木の葉裏などで越冬する。

### <Q&A>

※スギやヒノキの結実状況がその年のカメムシの発生量に影響します。

Q1：ツヤアオカメムシの寿命は？

Q2：ツヤアオカメムシはどこで冬越しをするの？

Q3：ツヤアオカメムシと家によく入ってくる茶色いカメムシはちがうの？

A1：今みられる成虫たちは、冬越しをしてから来春に山へ飛んでいき、交尾・産卵をしてから寿命を迎えます。

A2：ツヤアオカメムシは、木の葉裏やいろいろな隙間にもぐりこんで越冬します。街中でも、街路樹や生け垣の植物の葉について越冬します。冬でも暖かい日は活動することがあります。

A3：それはクサギカメムシと思われ、家屋内侵入の多いカメムシです。夏にスギやヒノキの実を食べて繁殖するところはツヤアオカメムシと似た生態ですが、家屋内侵入をする理由は「越冬場所を探すため」で、主な時期は10-11月です。



クサギカメムシ

(参照：伊丹市昆虫館ホームページ)